

## 「しころルール」の考案について

湖南中央消防署 警防係 富田 周臣

平成23年5月13日付で総務省消防庁より公表のありました「消防隊員用個人防火装備のあり方に関する検討会報告書（概要）」に示された、個人防火装備のガイドラインに基づき、より快適性、運動性能等の機能を向上させようと、防火帽「しころルール」を下記の通り考案しました。

### ○現状の防火帽しころの状況



### ○改良後



### 「現状の防火帽の問題点」

火災出動時防火帽を被って出動するが、しころが邪魔で無線の内容が聞こえにくく、しころによる視界不良のため緊急走行時の安全管理に問題がある。

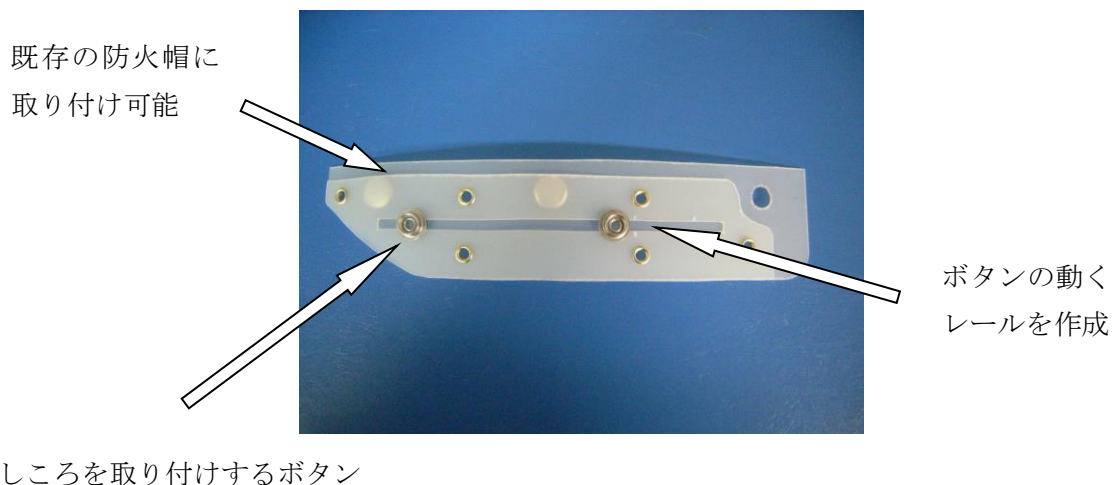
しかしながら火災現場では安全管理上しころをつけての活動となるため、現場到着までの間しころを開けておき現場到着すればしころを閉められるような機器の考案にいたしました。

### 「機器の考案概要」

既存の防火帽のしころにこの「しころレール」を取り付けることにより耳付近のしころを開閉することができます。しころが開閉することにより今まで聞き取りづらかった無線の聴取が容易になり、またしころによって視野角が制限されていたが視野角が広がることにより緊急走行時の安全管理に非常に有益になります。

レールのみ取り付けであるため既存の防火帽に取り付けることができ、作成コストも削減することができます。

また材料にはフライパンのテフロン加工で知られている耐熱、耐薬品性の高いフッ素樹脂を使用することにより既存の防火帽同様に使用することが可能となります。



制作費は左右2つ製作で約1000円程度

#### 「考案の利点」

1. 視野が広く、安全の確認が容易である。
2. 耳の部分が解放されているため、指示が聞き取りやすい。
3. 防火帽内に熱がこもることがなく、快適性に優れる。(熱中症等の予防)
4. 操作が簡単である。
5. 低コストで作成できる。
6. 個人防火装備のガイドラインに遵守している。